

## 事業報告書（令和2年度）

事業名 (支え合う地域づくりを目指して) 町内の課題克服と地域リーダー養成のための学習会

団体名 津倉わいわいESD 担当者名 小横章生

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

### 1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

別紙（令和2年度 津倉わいわいESDの活動記録綴り）のとおり

#### （6月活動）

・6月1日 ESD総会 「2019年度活動の総括、2020年度の年間活動計画の承認」  
13:00～15:30 津倉町集会所

#### （ふれあいカフェ）

- |        |             |        |       |                  |
|--------|-------------|--------|-------|------------------|
| ①6月1日  | 13:00～15:30 | 津倉町集会所 | 15名参加 | （対象：津倉町在住）       |
|        |             |        |       | 内容：別紙のとおり        |
| ②6月8日  | 13:00～15:00 | 津倉町集会所 | 14名参加 | （対象：津倉町在住）       |
|        |             |        |       | 内容：別紙のとおり・・・手芸教室 |
| ③6月15日 | 13:00～15:00 | 津倉町集会所 | 13名参加 | （対象：津倉町在住）       |
|        |             |        |       | 内容：別紙のとおり        |
| ④6月22日 | 13:00～15:00 | 津倉町集会所 | 12名参加 | （対象：津倉町在住）       |
|        |             |        |       | 内容：別紙のとおり・・・手芸教室 |
| ⑤6月29日 | 13:00～15:00 | 津倉町集会所 | 13名参加 | （対象：津倉町在住）       |
|        |             |        |       | 内容：別紙のとおり・・・ランチ  |

#### （7月活動）

#### （ふれあいカフェ）

- |        |             |        |       |                  |
|--------|-------------|--------|-------|------------------|
| ①7月6日  | 13:00～15:30 | 津倉町集会所 | 10名参加 | （対象：津倉町在住）       |
|        |             |        |       | 内容：別紙のとおり        |
| ②7月13日 | 13:00～15:00 | 津倉町集会所 | 14名参加 | （対象：津倉町在住）       |
|        |             |        |       | 内容：別紙のとおり・・・手芸教室 |
| ③7月20日 | 13:00～15:00 | 津倉町集会所 | 11名参加 | （対象：津倉町在住）       |
|        |             |        |       | 内容：別紙のとおり        |
| ④7月27日 | 13:00～15:00 | 津倉町集会所 | 15名参加 | （対象：津倉町在住）       |
|        |             |        |       | 内容：別紙のとおり・・・ランチ  |

#### （8月活動）

- ・8月24日 高齢者の自粛生活支援セットづくり  
対象：津倉町独居老人 30名（対象：津倉町在住 75歳以上）  
内容：手洗い消毒液&折り紙セットの提供

(ふれあいカフェ)

- ①8月3日 13:00~15:30 津倉町集会所 14名参加 (対象:津倉町在住)  
内容:別紙のとおり・・・手芸教室
- ②8月17日 13:00~15:00 津倉町集会所 13名参加 (対象:津倉町在住)  
内容:別紙のとおり
- ③8月24日 13:00~15:00 津倉町集会所 15名参加 (対象:津倉町在住)  
内容:別紙のとおり・・・自粛生活支援セットづくり
- ④8月31日 13:00~15:00 津倉町集会所 15名参加 (対象:津倉町在住)  
内容:別紙のとおり・・・ランチ

(9月活動)

(ふれあいカフェ)

- ①9月7日 13:00~15:30 津倉町集会所 11名参加 (対象:津倉町在住)  
内容:別紙のとおり
- ②9月14日 13:00~15:00 津倉町集会所 14名参加 (対象:津倉町在住)  
内容:別紙のとおり・・・手芸教室
- ④9月28日 13:00~15:00 津倉町集会所 15名参加 (対象:津倉町在住)  
内容:別紙のとおり・・・ランチ

(10月活動)

- ・10月12日 健康教室 14:00~ コロナ感染症対策講演  
対象:高齢者15名 (対象:津倉町在住75歳以上)  
内容:コロナ禍の「新しい生活様式」の提案
- ・10月19日 ボランティアで食事づくり  
対象:津倉町独居老人30名 (対象:津倉町在住75歳以上)  
内容:祭り寿司の提供

(ふれあいカフェ)

- ①10月5日 13:00~15:30 津倉町集会所 13名参加 (対象:津倉町在住)  
内容:別紙のとおり
- ②10月12日 13:00~14:00 津倉町集会所 15名参加 (対象:津倉町在住)  
内容:別紙のとおり・・・手芸教室
- ③10月26日 13:00~15:00 津倉町集会所 14名参加 (対象:津倉町在住)  
内容:別紙のとおり

(11月活動)

(ふれあいカフェ)

- ①11月2日 13:00~15:30 津倉町集会所 15名参加 (対象:津倉町在住)  
内容:別紙のとおり・・・名画鑑賞会
- ②11月9日 13:00~15:00 津倉町集会所 15名参加 (対象:津倉町在住)  
で内容:別紙のとおり・・・手芸教室
- ③11月16日 13:00~15:00 津倉町集会所 15名参加 (対象:津倉町在住)  
内容:別紙のとおり

(12月活動)

- ・12月13日 ESD 役員会 13:00~15:30 津倉町集会所 4名参加
  - ・12月計画のクリスマスパーティの中止決定
  - ・コロナ禍の中の自粛生活支援の決定
- ・12月21日 11:00~ 各自の自宅調理場 ボランティアで食事づくり  
対象：津倉町独居老人 30名 (対象：津倉町在住 75歳以上)  
内容：おでん弁当の提供

(1月活動)

- ・1月11日 ESD 役員会 10:00~ 津倉町集会所 4名参加
  - ・新年度の活動計画について協議
  - ・参加者の増員計画と町内会との連携を模索

※コロナ禍により中止した活動

- ・8月計画 子ども夏祭り 中止
- ・9月計画 お月見茶会 中止
- ・年間の諸々の講演会・見学会計画 中止
- ・伊島小学校の課外授業 中止
- ・ふれあいカフェのクリスマスパーティ&忘年会 中止

※ふれあいカフェ : 毎週:月曜日(13:00~16:00)開催 常時12~15名参加

高齢者の居場所づくり活動を図りながら「支え合う地域づくり」を目指す

{特記イベント}

●手芸

- ・毛糸利用ぬいぐるみ
- ・観葉植物づくり
- ・ネルソン多肉植物植
- ・マスクケース
- ・ガラスドーム
- ・祝儀袋づくり
- ・額縁時計&BOX時計

●映画鑑賞 ●ランチ ●健康体操およびペタンク、気功法の導入

●オーガニック野菜商品の販売

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

- ・ ESD 講座で岡山市保健所の保健師を招き、コロナ禍の中で必要とされる「新生活様式」についてどのように対応すれば良いのか講演をしてもらった。その結果民生委員を中心とする町内会全体で「独居老人対策」に取り組むことになった。
- ・ 児童の登下校時の見守りについては、ESD 活動と町内会が協調する形で実施することになった。
- ・ 町内で多数の人が参加可能で持続可能な行事を企画し、「支え合う地域づくり」の精神醸成を図る計画だったが、ラジオ塔を活用したラジオ体操および野点茶会、独居老人を囲むクリスマスパーティなどのふれあいイベントが全てコロナ禍で中止になったのは残念である。
- ・ 毎週実施している「ふれあいカフェ」も6月~11月間は実施できたが、その後は中止を余儀なく

された。高齢者から「カフェに参加するのが楽しみ！」という声が多い中で、自分の役割が求められる参加型カフェにシフトしている。見るだけ、しゃべるだけから生きがいを感じるように！

### 3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

・成果の一番は、何といっても「ふれあいカフェ（毎週1回開催）」の定着と充実である。総括を踏まえて、参加者が増えるようメニューの見直しやPRを行った。その結果、「ここへ来るのが楽しみ。あれを又やりたい。」という声が聴かれる。主催者にとっては、遣り甲斐のある状況になってきている。この状況から親しさ、友情、共助の精神に繋がっていると感じている。

準備するESD会員は、相変わらず大変であるが高齢者の方には大層喜んで頂ける結果となっている。一方で、カフェが浸透して参加者全体が運営に協力するようになってきている。

・計画していた講座会がコロナ禍で中止になったので目指すところの「支え合う地域づくり」は不発に終わった。来期は、今後の推移を予測するなかで「今やらなければならないこと。今から準備しておかなければならないこと。」を実践することである。したがって、講座テーマについては、家庭において直ぐにも実践すること、意識の改革を図りこれから徐々に実践していくことに分けて行きたい。

・「お茶会」は、小学生や幼児が休日を利用して点前を修練し、親や祖父母に感謝を込めて振舞う。この「ふれあい茶会」は、例年微笑ましい光景のイベントになっているが、今年は3密を避けて中止した。町内の老若男女が集う交流で地域づくりに貢献するので残念である。

・ラジオ塔の発見後、町内会にラジオ塔を活用したイベントも加わり、参加者意識にも変化がみられる。しかしながら、今年はコロナ禍の影響で中止しました。

### 4. 今後の課題と展望

まずはコロナ禍の収束および下火になることが前提であるが、

・独居老人の世帯が急激に進んでおり、町内会でもどのような生活状況の人なのか把握しきれていない。その中であって「支え合う地域づくり」は急務と考えている。10年後は独居老人世帯が30%程度となっているだろう。高齢者の生活環境は大きく変わってくる。この大きな問題は、町内会で取り組まなければならない課題である。

そこで、今年度から町内会と協働で高齢者対策を行うことになった。まずは、ESD活動から得られた経験知見と他町内の活動を情報収集して活動強化を図って行きたい。

・今年は、コロナ禍で活動が制約されたので、次世代の地域リーダーの発掘に努めることが出来なかった。しかし、避けて通れない道であり、今後はリーダーシップが読めるようなイベントを企画して、リーダーの発掘と養成を町内会と連携して行いたい。